

第1回アジア医療フォーラム

アジア人の健康と医療

2010. 06. 15

尾身 茂

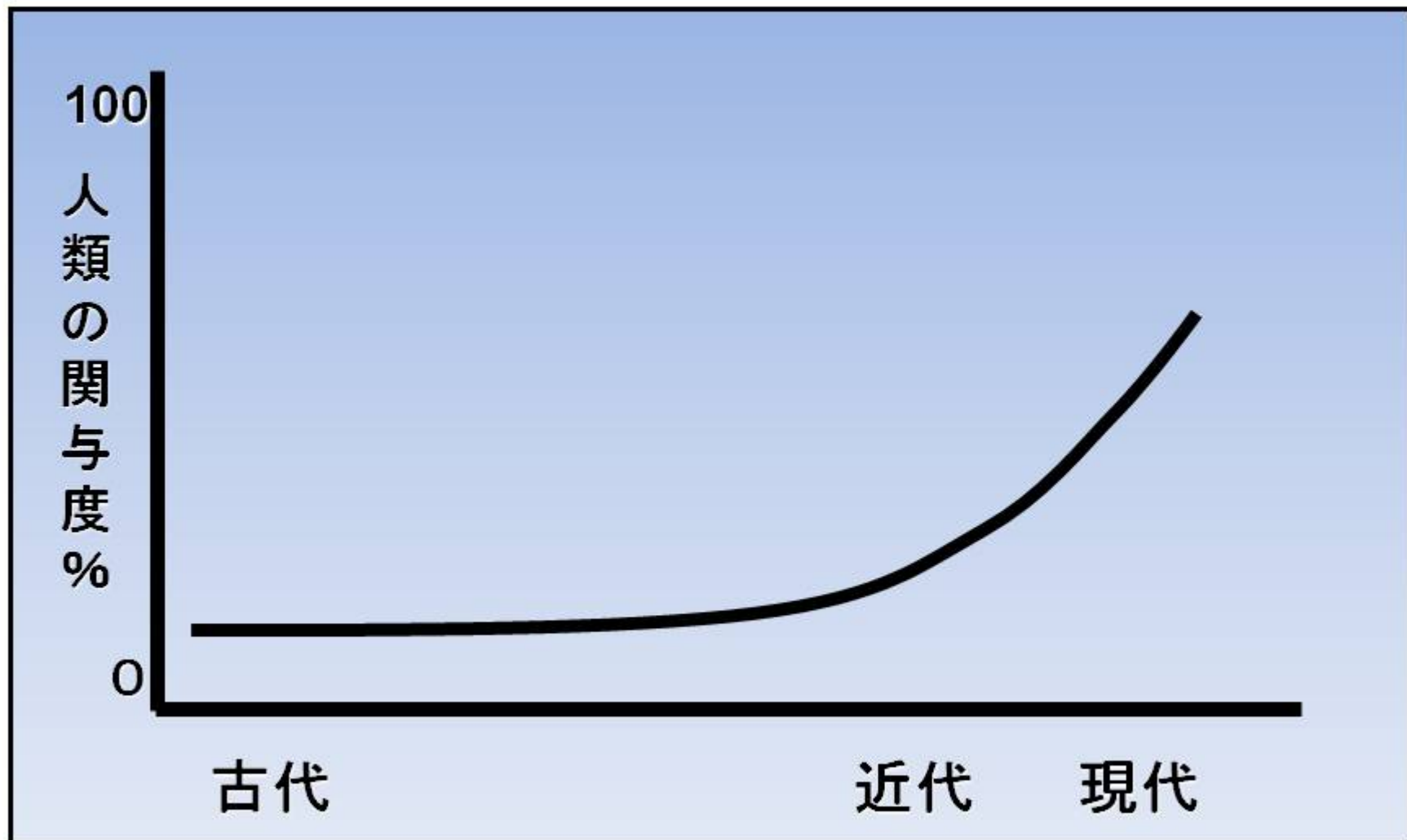
目次

1. 文明と病気：歴史
2. 今日的課題：おもにグローバルな観点から
3. 将来の課題

文明と病気の関係

時期	出来事	病気	例
有史前	狩猟民族として生活	主な感染症の流行はなし	
第1の波 (5,000-2,500年前)	農耕民族として“定住”	天然痘、麻疹、水痘、結核、小児麻痺	シュメール、エジプト
第2の波 (2,500-700年前)	交易や旅行者などを通じた文明同士の交流	天然痘、麻疹	ヨーロッパからアジア (シルクロード)
		“黒死病”(ペスト)	6世紀からヨーロッパで
第3の波 (700年前頃)	大航海時代 (大陸間の移動)	天然痘、麻疹、インフルエンザ、発疹チフス	ヨーロッパからアメリカへ
		梅毒	アメリカからヨーロッパへ
		マラリア、黄熱病	アフリカからヨーロッパへ
第4の波 (現代)	地球規模での人・物の移動 科学技術・産業の発展 高齢化 人口増加 都市化	心の問題、生活習慣病を含む非感染症、感染症大流行の恐れ、環境問題の深刻化	全世界

健康被害に対する人類の関与度



目次

1. 文明と病気：歴史

2. 今日の課題：おもにグローバルな観点から

3. 将来の課題

発展途上国における疾病パターンの変化



(Source: WHO, *Evidence, Information and Policy*, 2000)

新興感染症の出現

年	病気	自然宿主 (疑いも含む)
1957	アルゼンチン出血熱	マウス
1959	ボリビア出血熱	マウス
1967	マールブルク病	
1969	ラッサ熱	マストミス
1969	急性出血性結膜炎	
1976	エボラ出血熱	チンパンジー
1977	在郷軍人病	
1980	ヒトT細胞白血病	
1981	AIDS	
1982	ライム病	
1982	腸管出血性大腸菌	
1985	牛海綿状脳症	羊
1988	E型肝炎	
1988	C型肝炎	
1991	ペネズエラ出血熱	ラット
1993	ハンタウイルス肺症候群	シカネズミ
1994	ヘンドラウイルス病	オオコウモリ
1994	ブラジル出血熱	
1995	G型肝炎	
1997	鳥インフルエンザ	鳥
1998	ニッパウイルス	オオコウモリ
1999	西ナイル熱	鳥
2000	新型アレナ熱	ラット
2003	SARS	ハクビシン

(山内一也「キラーウイルス感染症」双葉社より抜粋)

20世紀に発生した大流行と 流行したウィルス



1918: スペイン風邪

4,000~
5,000万人死亡



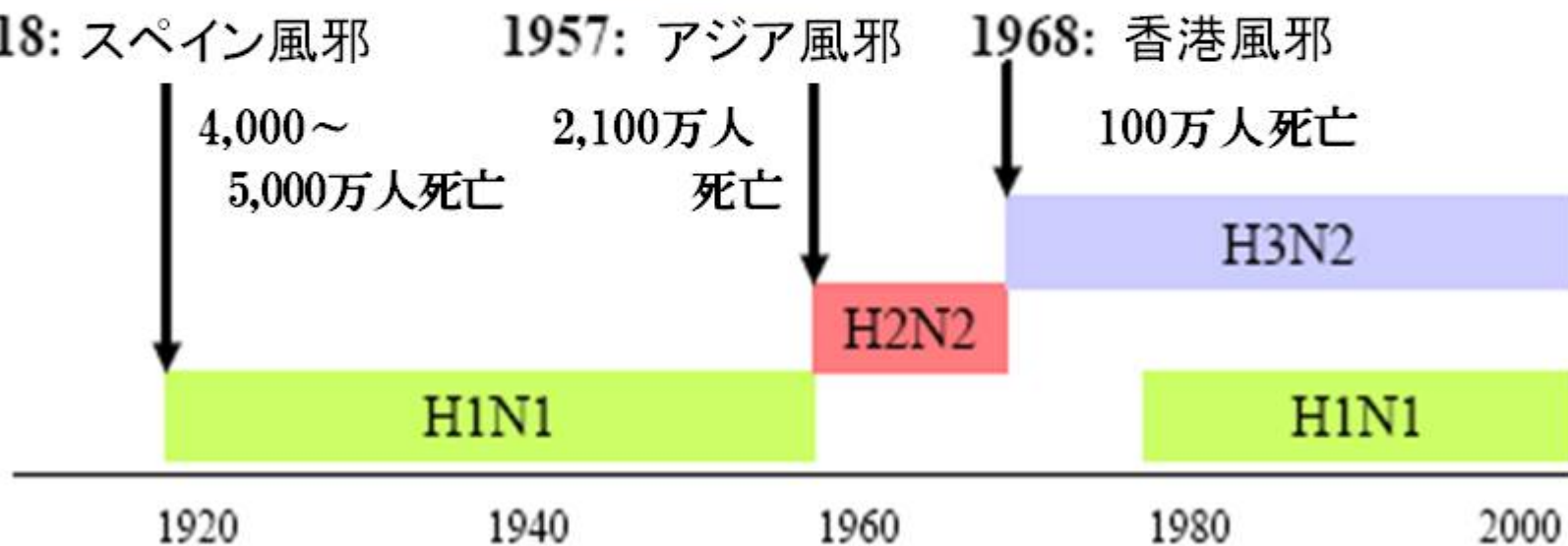
1957: アジア風邪

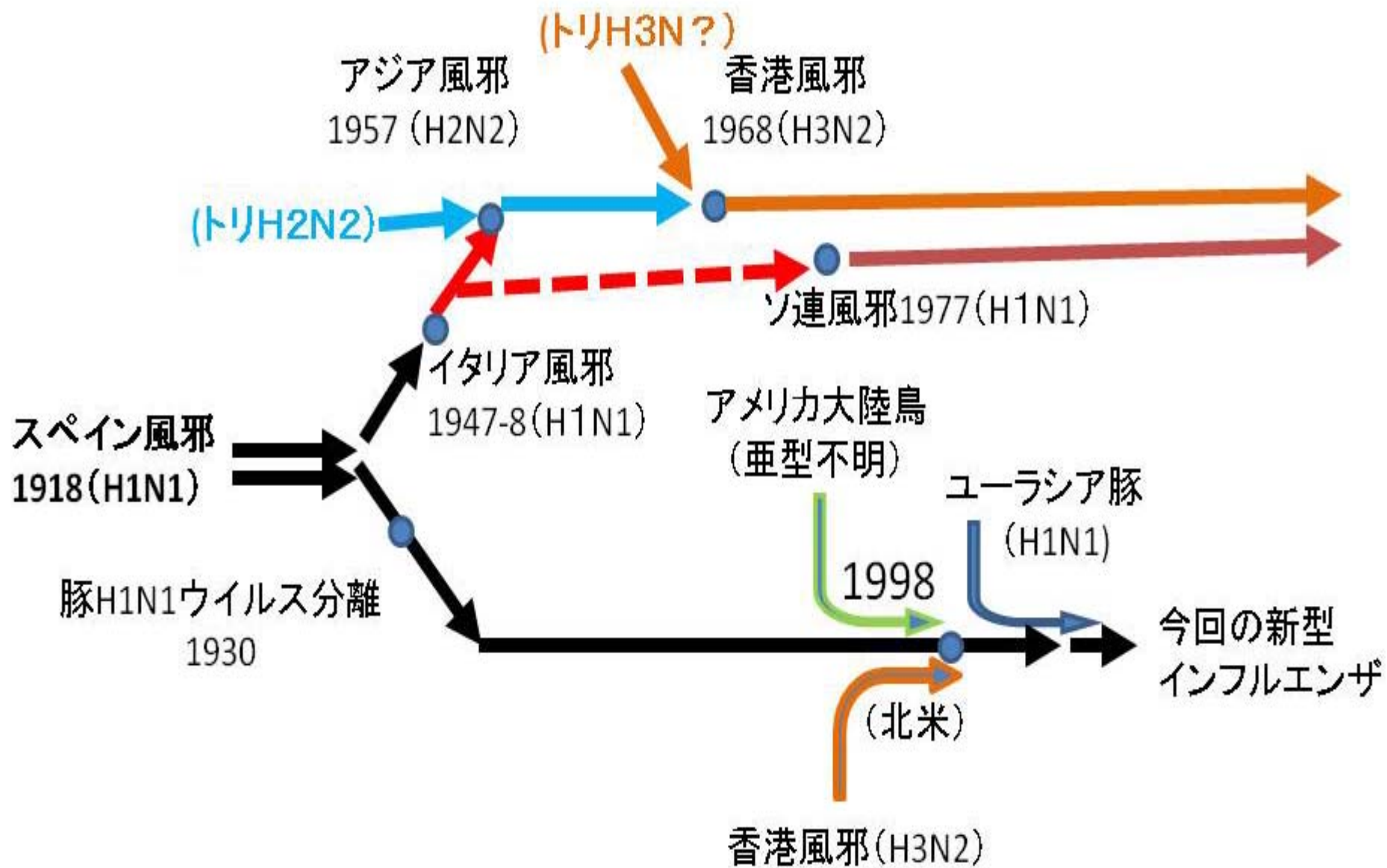
2,100万人
死亡



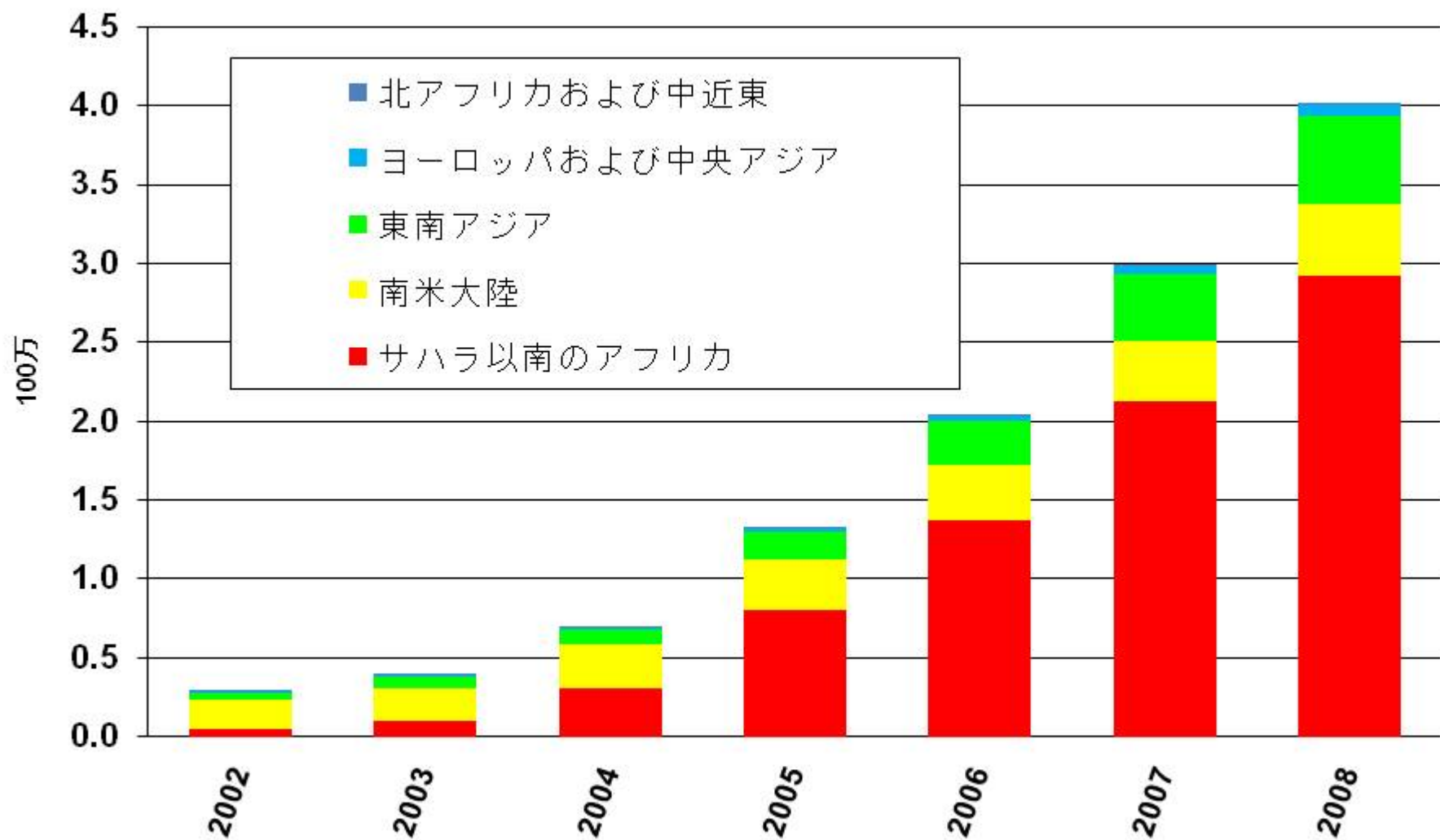
1968: 香港風邪

100万人死亡

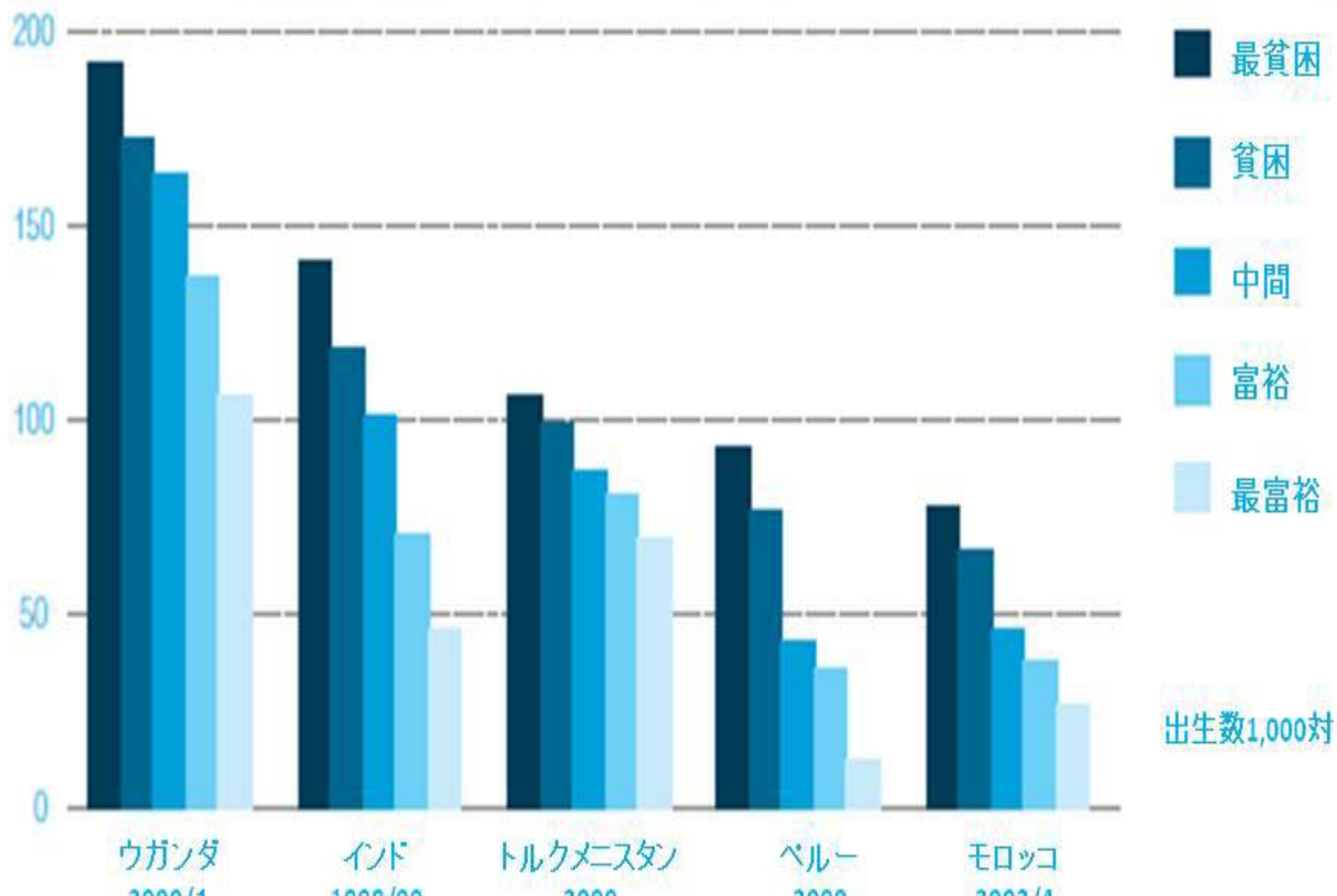




発展途上国における地域別に見たエイズ治療薬にアクセスできた人の数



家庭の収入のレベルによる5歳以下の小児の死亡率



病気への取り組みの特徴

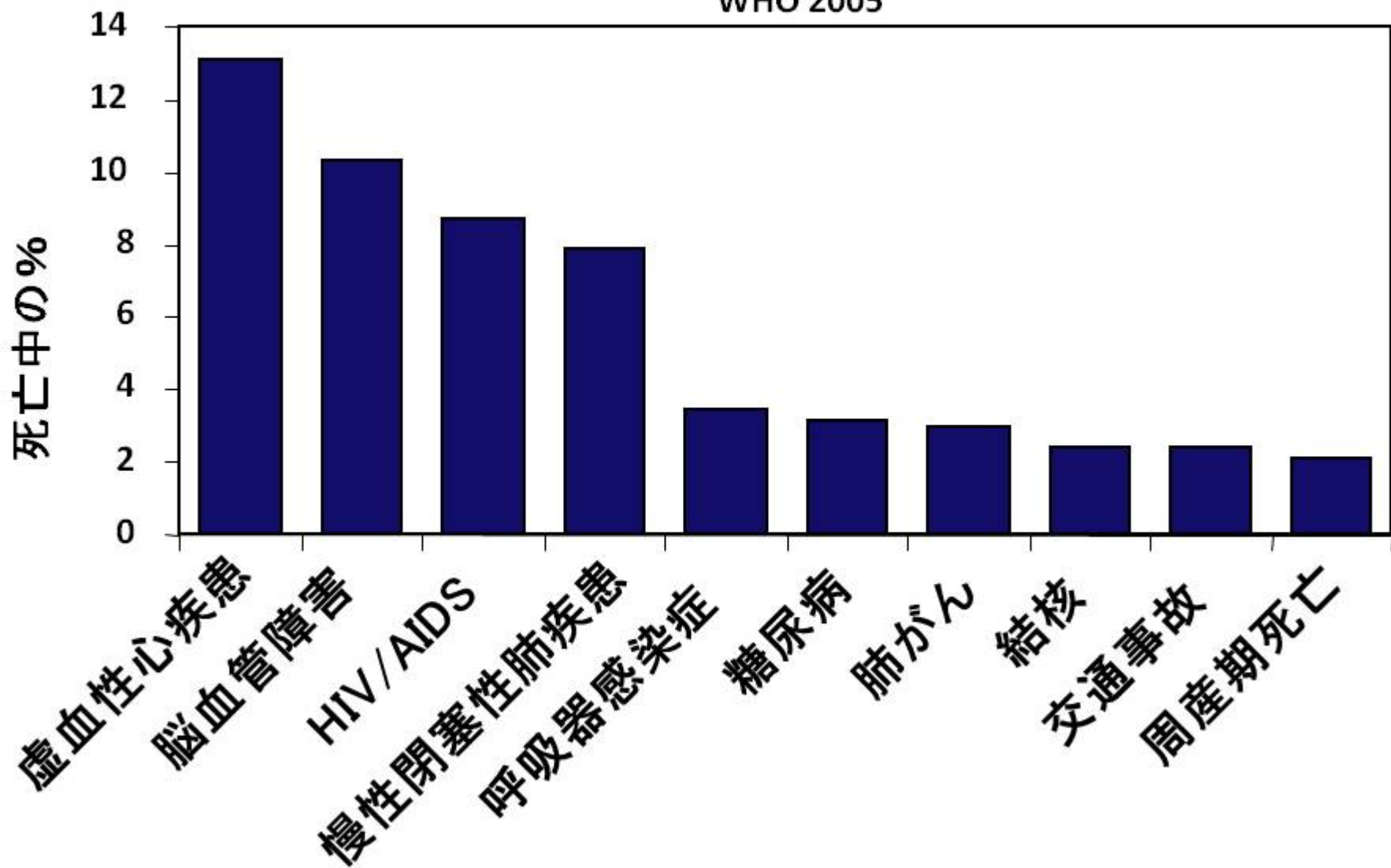
- 健康問題の政治化
- Social determinants という考え方
- 横断的な取り組み
(医療供給体制のせい弱性、migration of skilled health workers)
- NGO, NPOなど市民社会の参加
- “富める国”と“貧しい国”の格差縮小への取り組み
- 人間安全保障

目次

1. 文明と病気：歴史
2. 今日の課題：おもにグローバルな観点から
3. 将来の課題

世界全体における 2030年の主要死因(推定)

WHO 2005



これからの課題

1. 地域に支えられた個人の行動変容
知識と行動のギャップ
ヘルシーチョイス
2. 地域の活性化
3. 医療政策過程における市民参加